

尾村としなり
県議会議員



島根原発

2号機

プルサーマル運転・
40年超える運転延長

3号機

新規稼働…

やめよ

原発事故と地震が重なることへの不安

福 島原発事故から15年。いまだに5万人近い方々が避難生活を強いられています。

今年1月6日には県東部を震源とするM6.4の地震が発生。住民からは「原発事故と地震がかさなれば、避難できない」との声が上がりました。

それなのに、不正・トラブル続きの中国電力は、島根原発2号機で猛毒物質・プルトニウムを燃やす、危険なプルサーマル発電を計画しています。

人々の笑顔と幸せを奪ったのが原発事故。「原発のない安全・安心の島根」の実現へ、力を合わせましょう。

再稼働後もトラブル続きの中電

住民からは…

中部電力・浜岡原発の地震に関するデータのねつ造はひどい。もはや、電力会社がウソをつかないという「性善説」は通用しない。



子どもや高齢者、入院中の人が無事に避難できるか不安。原発の直下にある140キロの活断層や核のゴミも心配です。



大軍拡ノー

美保基地・出雲駐屯地
境港・特定利用港湾

戦争する国づくり ストップ

大国 陽介
県議会議員



敵基地攻撃、戦争準備ストップ

大 軍拡に投じられる税金は5年で43兆円。県内でも、軍事力強化の波が深刻な影響を及ぼし始めています。

出雲駐屯地の機能強化や美保基地への最新鋭輸送機・空中給油機の配備拡充、雲南市吉田町への自衛隊火薬庫と訓練場の誘致、県西部での米軍機低空飛行訓練の激化、境港の「特定利用港湾」（自衛隊が武器、弾薬等の物資輸送が可能に）としての軍事拠点化——軍備強化は緊張を激化し、島根が攻撃対象になる危険を高めます。

国境を接する島根県として「軍事対軍事による抑止力」ではなく、9条いかした平和の外交を国に強く働きかけるべきです。

憲法いかし平和な島根を

ト ランプ米政権とイスラエルがイランを攻撃。しかし、高市首相は、国際法違反のアメリカに一言も批判することができません。

アメリカいいなりではなく、憲法9条をいかし、平和の立場でモノが言える日本へ。平和憲法の理念を守り、平和な島根をつくりましょう。



暮らしや地域のお困りごと、ご相談ください

連絡先

尾村としなり

〒690-0845 松江市西茶町 105-8
tel 0852-20-2855 fax 0852-20-2866
mail info@omura-toshinari.com

大国 陽介

〒693-0068 出雲市姫原1丁目 1-17
tel 0853-31-4150 fax 0853-31-4151
mail ooguni-yosuke@sky.plala.or.jp